

⑥ おばえぜき 小場江堰

城里町と常陸大宮市の境にある小場江堰は、那珂川の河口から 36.5km の地点にある農業用水の取水堰である。両岸に階段式魚道が設置され、毎年春から初夏にかけて稚アユの遡上^{そじょう}を見ることができる。晩秋から初冬にかけての落ちアユの時期には、魚道付近にサギ類やカワウなどの鳥類が魚を狙って集まっている。カワウは近年、全国的に増加し、那珂川においてもアユをはじめとする魚類を大量に捕食し、問題になっている。



小場江堰 (常陸大宮市・城里町 4月)



小場江堰の階段式魚道(右岸)



小場江堰の魚道を遡上するアユ (4月下旬)



(写真：なかがわ水遊園)

アユ (キュウリウオ科)

全長 25cm。春 3~5 月に稚魚が川を遡上し、石の珪藻類を食べながら成長する。秋 10 月頃に産卵のために川を下り、集団で川の砂利底に産卵する。年魚である。ふ化した仔魚は沿岸まで下り、プランクトンを食べて成長する。那珂川を代表する魚である。

図 4-45 小場江堰と通過するアユ